

がん医療フォーラム 2018 がんを知り、がんと共に生きる社会へ

患者さんご家族の「生きる」を支える
～「がんの在宅療養支援」プロジェクトの展望～

がんの在宅療養

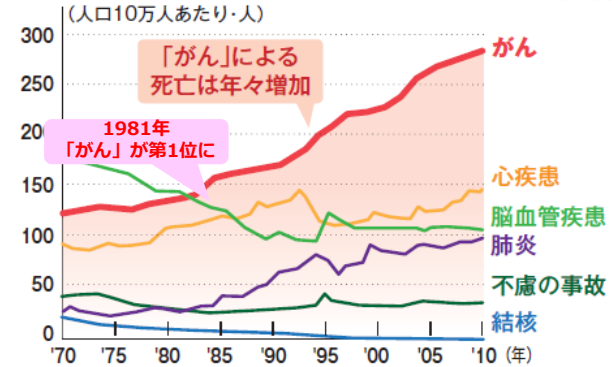
帝京大学医学部内科学講座 腫瘍内科
渡邊 清高



2018年12月2日
一橋講堂

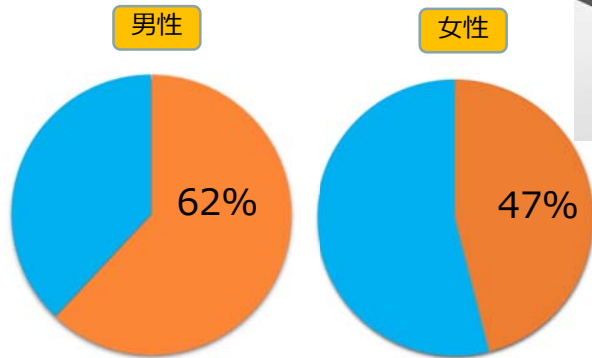
がんになる人はどのくらいいるの？

主な死因別にみた死亡率の年次推移 厚生労働省/人口動態統計



年間37万人の方ががんで亡くなり、
1年間で86万人の方が新たにがんと診断されています。
(死亡 2016年データ、罹患 2014年データ)

日本人の2人に1人ががんになる

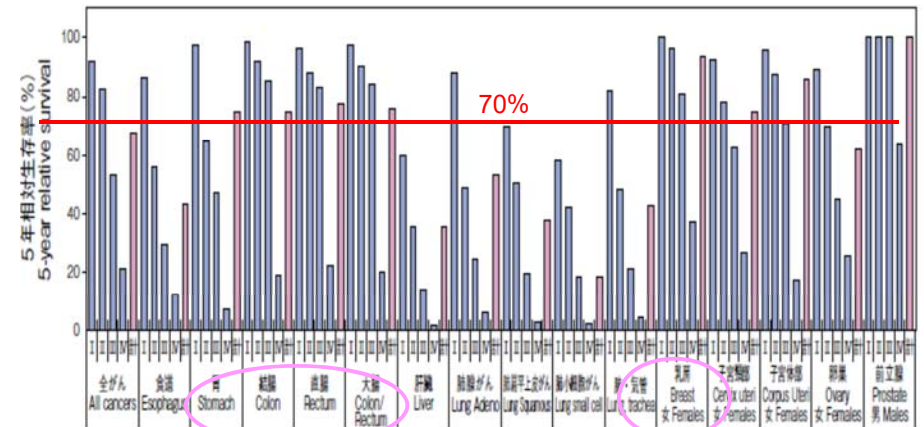


生涯でがんに罹患する確率
(2014年)

国立がん研究センター
がん対策情報センターによる推計値

医療の進歩→患者と家族を支える社会へ

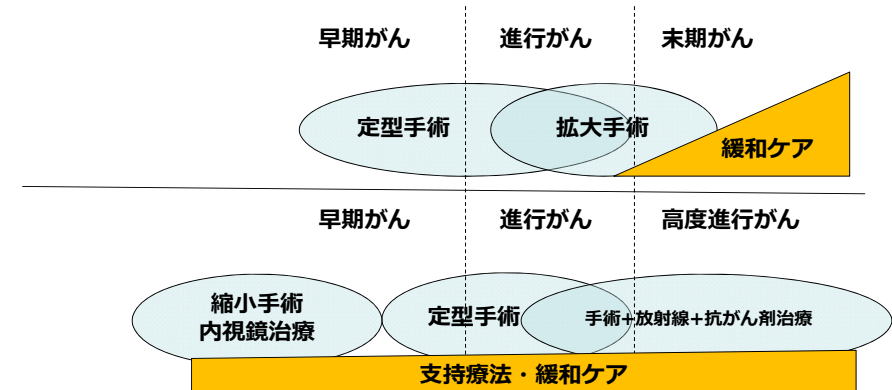
がんの5年生存率 (2007-2009 診断治療症例)
全国がん(成人病)センター協議会(全がん協)



胃・大腸・乳がんは5年生存率が70%を超えている

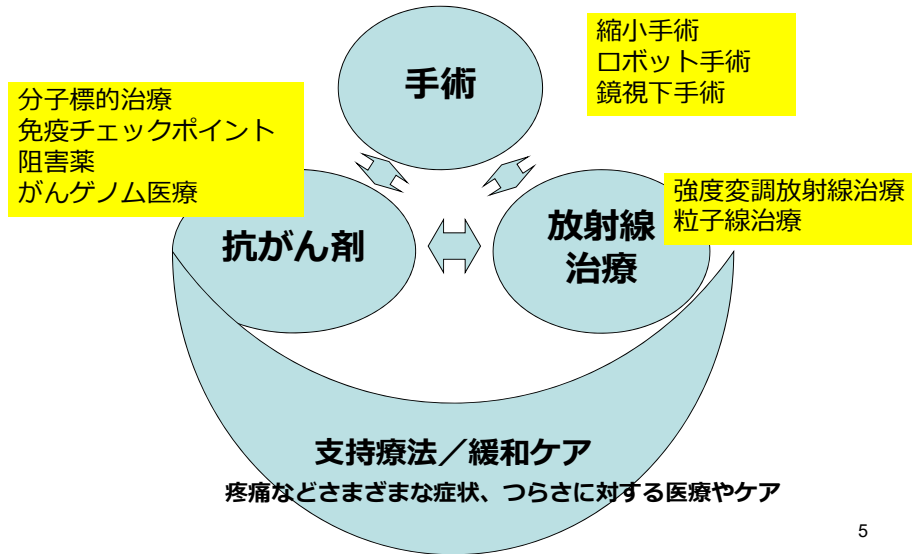
がんの統計'17

がん治療の考え方の変遷



かつては、がん治療を尽くして効果が見込めなければ、「緩和ケア」という考え方が主流でした。緩和ケアや支持療法の進歩により、QOLの向上や予後の改善、新たな治療の有効性・安全性が証明されることで、さまざまな戦略がとられるようになってきています。

がんの治療法



標準治療

標準治療とは、科学的根拠に基づいた観点で、現在利用できる最良の治療であることが示され、ある状態の一般的な患者さんに行われることが推奨される治療をいいます。

一方、推奨される治療という意味ではなく、一般的に広く行われている治療という意味で「標準治療」という言葉が使われることもあるので、どちらの意味で使われているか注意する必要があります。なお、医療において、「最先端の治療」が最も優れているとは限りません。最先端の治療は、開発中の試験的な治療として、その効果や副作用などを調べる臨床試験で評価され、それまでの標準治療より優れていることが証明され推奨されれば、その治療が新たな「標準治療」となります。(国立がん研究センターがん情報サービス)

病気はつらい、だけど...
「自分らしく過ごしたい」

患者さん、ご家族、そして医療者も、
「がんを知り、話し合う」

- ✓ まず、正しく知ること
- ✓ 正しく理解する
- ✓ そして、正しく行動する

がん情報サービス

(国立がん研究センター
がん対策情報センター)

<http://ganjoho.jp/>

がん情報 検索

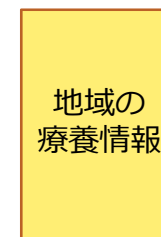
がん情報サービスは
国立がん研究センター
が運営しています。

がん情報サービスは
国立がん研究センター
が運営しています。

がん情報サービスは
国立がん研究センター
が運営しています。

信頼できる情報

患者必携 がんになったら手にとるガイド



手にとれる手引き

手帳、記録

地域の情報

心構え
療養のヒント
生活支援
用語集

わかったこと
わからないこと
聞きたいこと

身近な地域の
医療機関
相談窓口

書籍・手帳 患者必携 がんになったら手にとるガイド
学研メディカル秀順社
インターネット「がん情報サービス」でも無料で閲覧可

医療者とよい関係をつくる

- ✓ 困ったこと、わからないことは伝えましょう
- ✓ 対話を重ねて信頼関係を
- ✓ 信頼できる人に同席してもらうことも
- ✓ 聞きたいことをメモにして持参
- ✓ がん相談支援センターや患者会でアドバイスを受けることも



患者必携 がんになったら手にとるガイド より
(国立がん研究センターがん対策情報センター)

対話が大切

記入日 年 月 日

受診時に伝えたいこと、質問したいことのメモ

日付	病状や気になっていること	説明されたこと

担当医からの説明の記録

● 受診日: _____

● 受診内容: _____

● 経過説明: _____

● 質問への答え: _____

● 次回診察日: 年 月 日 : ~

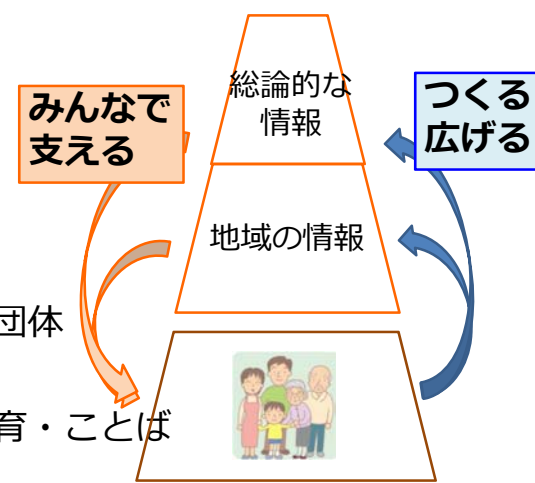
【診察を終えて】 印刷することによって情報が多くなります。印刷する場合はあらかじめご了承ください。

医療・介護・療養の情報

患者さんを支える仕組み

地域の医療
緩和ケア
在宅医療
社会資源
患者会・ボランティア団体

歴史・風土・文化・教育・ことば
気候・家族観・死生観



患者さん+ご家族・地域のニーズ

がん患者さん・ご家族向け「地域の療養情報」の作成

38道府県で公開 のべ97冊作成・更新(2018年11月)



地元の相談員、ソーシャルワーカー、看護師、医師、患者さんとご家族のアイデアで作成・更新されています

地域におけるがん患者の緩和ケアと在宅療養情報普及と活用プロジェクト

<http://homecare.umin.jp>

がんの在宅療養

地域におけるがん患者の緩和ケアと在宅療養情報普及と活用プロジェクト



2015年公開
全文を無料で閲覧可能
がん診療連携拠点病院に見本版を提供
2016年全国の書店で販売

がん患者さんにご家族をつなぐ在宅療養ガイド

第1章 在宅での療養を始める

本人と家族の心構えと準備
一緒に療養を支えるパートナーを探
在宅での療養を始めるにあたって



第2章 「最期のとき」に向き合うこと

「最期を考える」ことに向き合う
在宅での療養について考える

第3章 人生の最期をともに生きる

人生の最期をともに過ごす



ー心と体の変化に寄り添うには

本人と家族の心のケア

第4章 お別れの時期

看取りのときを迎える
大切なひとを失ったご家族

在宅での療養を考えたい、
寄り添いたいとき、
役に立つ情報

在宅療養を支える情報

内容についてのご意見

- ・本人との**コミュニケーションの取り方**がわかる
- ・**家族のケア**のやり方、最期のときの様子がわかる
- ・気持ちが動転しているときに、**大変役立つ**内容
- ・**心の準備**ができる、気持ちの余裕を取り戻せる

届け方についてのご提案

- ・**手に取るタイミング**が非常に重要。自他ともに受けとめる時期が良いのでは
- ・病院、在宅医、訪問看護ステーション、薬局など、**目に触れる機会**を増やすことが大切

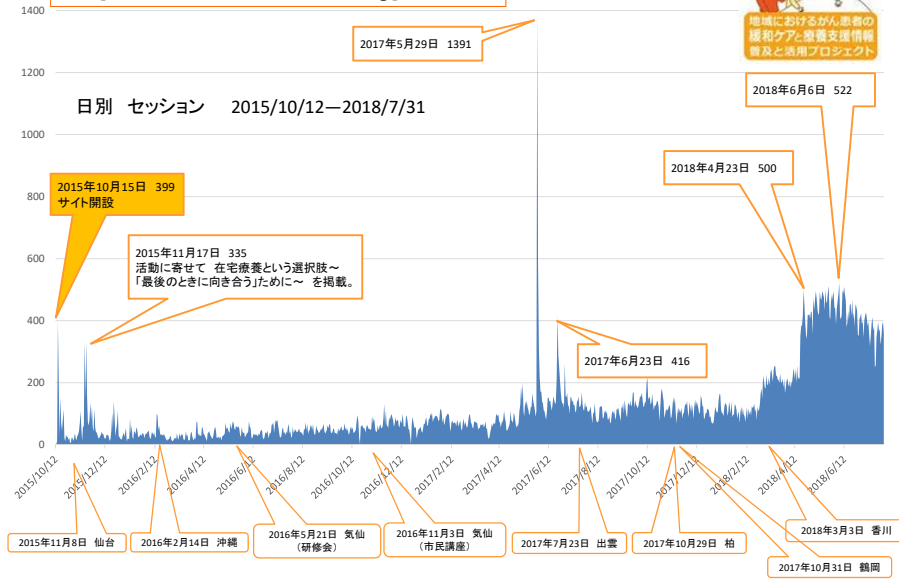
フォーラム・研修会を全国で実施



患者さんとご家族、医療関係者、介護・福祉関係者、行政などの方々と連携し、地域におけるがん患者さんにご家族の療養の支えとなる場づくりにつながるフォーラムや研修会のお手伝いをさせていただきます。



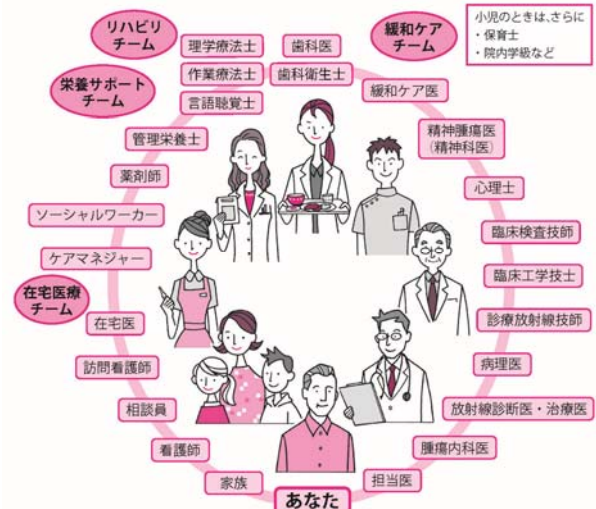
がんの在宅療養 ウェブサイト <http://homecare.umin.jp>



3回シリーズ がんの在宅療養パンフレット



がんと共に生きる社会に向けた地域づくりへ



チーム医療のイメージ

患者必携
がんになったら手にとるガイド
(国立がん研究センター
がん対策情報センター)

がん対策基本法

(平成十八年六月二十三日法律第九十八号)
(平成二十八年十二月十六日改正)



第一章 総則

(国民の責務)

- **第六条** 国民は、喫煙、食生活、運動その他の生活習慣が健康に及ぼす影響、**がんの原因となるおそれのある感染症等**がんに関する**正しい知識**を持ち、がんの予防に必要な注意を払い、必要に応じ、がん検診を受けるよう努めるほか、**がん患者に関する理解を深めるよう努めなければならない。**

がん相談支援センター

がん診療連携拠点病院などに設置されている、がんの相談窓口です。



・患者さん、ご家族のほか、どなたでも無料で利用できます

・研修を修了した専門の相談員が対応しています

(看護師・ソーシャルワーカーなど)



がん医療フォーラムご参加の方のお声から

- ・がんの最新治療について知りたい
- ・がんの予防、再発を防ぐ生活習慣
- ・がん経験者の就労支援
- ・がん患者が安心して社会生活を営んでいくには
- ・信頼できる情報の見極め方
- ・がんをもつ家族との関わり方
- ・治療と費用のこと
- ・職場や周囲の理解を得るには
- ・在宅医療・在宅緩和ケア など



「がんの療養」プロジェクトのこれから

患者さんの「生きる」に寄り添う

